



三原の魅力満載 観光ガイドブックを発行



▲三原の魅力を満載した観光ガイドブック

市は、観光客に三原の魅力をPRし、訪れてもらうためのクーポン券付き観光ガイドブックを発行しました。「行くとハッピーになれる街！三原」と題したガイドブックは、全32ページのカラー版。「食べるとほくほく笑顔に

なる三原でタコ三昧」開運！佛通寺&御調八幡宮でパワーチャージ」など、三原タコやスイーツなどのグルメ情報、おすすめの見学情報などを掲載しています。

「三原の二大祭り徹底解剖！」「ガイドさんと参ろう！三原ハッピーガイドツアー」は、市民の人も三原を再発見できる情報です。

市役所や道の駅、うきしろロビーで無料配布していますので、三原の紹介や案内などに利用してください。

観光課

☎0848・67・6015

まちづくり戦略検討会議 提案をまとめ報告

市のまちづくり戦略検討会議は3月26日、これまで議論してきた行財政改革やまちづくりの施策についての意見をまとめ、市長に報告しました。

会議は昨年9月、弁護士や大学教授、企業関係者など10人で発足。行財政改革、地域活性化、生活環境の3部会に分かれ、議論してきました。

行財政改革部会では、公共施設などの仕分けについて、緑ヶ丘女子商業高校跡地は、建物の老朽化や耐震性に課題があり、民間へ売却する方向で整理が必要としました。

久井青年の家など公共施設の有効活用については、これまでの施設の管理を主体とした運用から、企画や周辺施設などの連携を重視した運営型へ転換するべきなど、集客力向上に向けた具体的な提案がありました。

また、行財政改革の一環として、事業仕分けの実施方法についての提案もありました。

地域活性化部会では、駅前東館跡地の活用について、市全体と中心市街地の活力を取り戻すため、民間主導でホテル、図書館、会議場、広場の4機能をはじめとした複合施設を整備する提案がありました。

生活環境部会では、古紙などの再資源化のあり方について、費用対効果に優れる集団回収を強化することを提案し、ごみの減量化については、事業系ごみの減量化と再資源化対策も検討すべきなどの提案がありました。

今後は、これらの意見を参考に、実現可能性などを整理し、実施に向けて取り組んでいきます。

政策企画課

☎0848・67・6009

本庁舎に案内板を 設置しました

市は、来庁した市民の皆さんの利便



▲誰もが見やすい色使いとデザインを採用しています

性向上を目的に、本庁舎の正面玄関付近に市全域図と庁舎内の案内図を掲載した案内板を設置しました。

設置したのは、市全域図に公共施設などの場所を表示した案内板と、庁舎のフロアごとに部局の配置などを表示した案内板の2基。色覚に障害のある人でも見やすい色使いやデザインにしたほか、照明には環境にやさしいLEDを採用しました。

携帯電話やスマートフォンにも対応し、地図の取り込みのほか、目的の施設まで道案内する機能を使うこともできます。案内板の一部には広告スペースを設けており、市内事業者に広告掲載の機会を提供しました。

来庁の際は、利用してください。

総務課

☎0848・67・6022